

『榊原芳野家蔵目録』のこと

朝倉治彦

亡芳野相統人

榊原立次郎㊦

亡芳野親友

大槻修二㊦

東京図書館長 平山太郎殿

明治十六年三月十四日(朱)

領収書渡済 (朱)

前号に翻刻した、榊原芳野の蔵書目録は、東京図書館に寄贈した際、蔵書にふしてあったもので、このほかに寄贈時に、事務的に作成された目録が、当時の文書中にあることを、上野図書館の中田館長から御教示を得たので、余白をかりて、それにつき簡単に紹介しておきたい。

それは、明治十六年の『図書贈進願書及諸会社等往復綴』一冊中に綴じこまれている。寄贈者の出した書類は、次の通りである。

故榊原芳野蔵書別紙目録之通今般東京図書館に寄贈仕候、右書籍之儀ハ芳野多年辛苦相集申候者に付、御館に於て同人所蔵之名目を以て永ク御保存被成下度、此段奉願候以上

明治十五年十二月

亡芳野親族

榊原伝次郎㊦

この次に「故榊原芳野納、和漢新洋書目録」がある。これは一枚三厘の備書目録で、五十一葉、金清堂の十三行野紙に書きあげられた書名目録で、和書、漢書、新書洋書の三部に分けてあり、蔵書の部数は一四八七部、冊数は六一五七冊である。この目録は本を見ながら作成した目録で、翻刻した蔵書目録とは違う。また和洋の洋装本は、蔵書目録には含まれてない。新書洋書は五七部、一三六冊である。うち洋書は四点である。この寄贈に應ずる領収書は、翌年三月に出されていることなどが判明した。この榊原旧蔵本は、明治十八年六月刊『東京図書館和漢書分類目録』後編に収載され、「榊」の注が入っている。目録上からも判定できたが、のちの書名目録には、この注記を省いた為、目録から判断できなくなってしまう。

(あさくら・はるひこ 一般参考課主査)